

## 第4期せきららゼミ（秋学期）学生スタッフレポート

### ～ 第4期せきららゼミ（秋学期）DAY1 ～

このレポートは、学生スタッフ てつ が、若者からお年寄りまで幅広い方に、関市の魅力や、せきららゼミについて知ってほしいという思いから、書かせていただきました。

2021年9月3日（金）、「第4期せきららゼミ（秋学期）DAY1」が開催されました！

参加者は大学生7名、関市出身者もいますが、他の自治体から参加した人もいました。

当初は対面開催の予定でしたが、岐阜県に緊急事態宣言が発令されたことを受け、急遽オンラインでの開催となりました。

### 10:00～10:10 開会式

緊張した面持ちでのスタートとなりました。



### 10:10～10:30 簡単な自己紹介

名前、所属、今いる場所、24時間以内におきた良いことを紹介しました。

声を聞くと意外と緊張してなさそうな印象を受けました。

### 10:30～11:10 ディスカバリーインタビュー

2人ずつブレイクアウトルームに分かれての自己紹介タイムです。

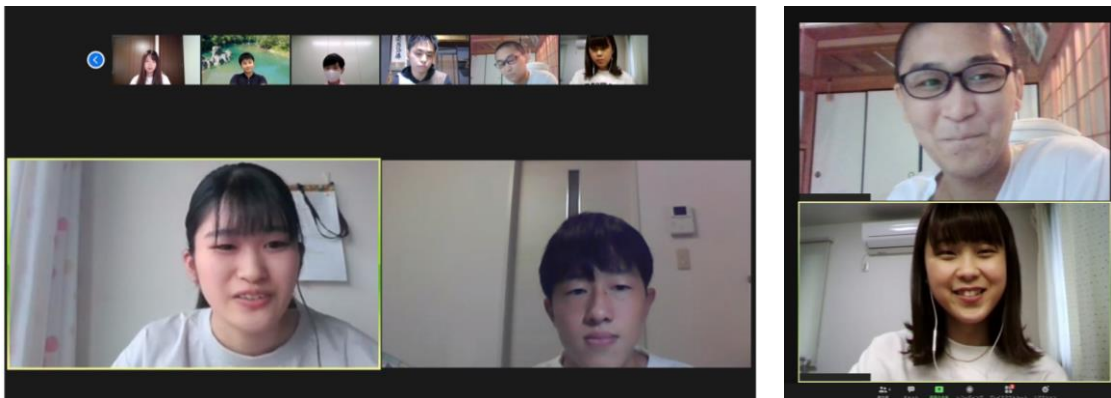
小学生、中学生、高校生、大学生、各年代でのエピソードを紹介し、家族や大切な人への思い、せきららゼミに参加した理由を発表しました。

お互いのことを深く知る中で、親しくなっていくたように感じました。

### 11:10~11:40 他己紹介

全体のルームに戻り、ブレイクアウトルームでのペアのことを紹介しました。

紹介する人、紹介される人ともに少し恥ずかしそうでした。



### 11:40~12:00 午前中の振り返り

午前中は自己紹介、他己紹介に重点を置き、お互いのことを深く知るための時間となりました。

### 13:00~13:30 武儀へようこそウェルカムトーク

#### 講義① 地域の編み方とそのコツ

武儀地域について知り、地域の編み方を学び、オンライン取材へと移ります。



### 13:30~14:30 オンライン取材（パッションフルーツ班）

3つの班に分かれてオンライン取材を実施しました。

「関むぎパッションフルーツ」のグループでは、武儀地域におけるパッションフルーツ栽培の概要や、栽培の難しさなど、様々なことを学びました。

少し眠たそうな参加者でしたが、積極的に質問をしたり、発信方法を考えたりと、有意義な時間を過ごしました。

武儀地域のパッションフルーツは露地栽培で、かつ無農薬であり、作るのが難しいそうです。  
ちなみに動物は果実を食べることはなく、甘い葉っぱだけを食べるそうです。  
また、寒さに弱いため、毎年植え替えを行い、一から育てることが印象に残りました。



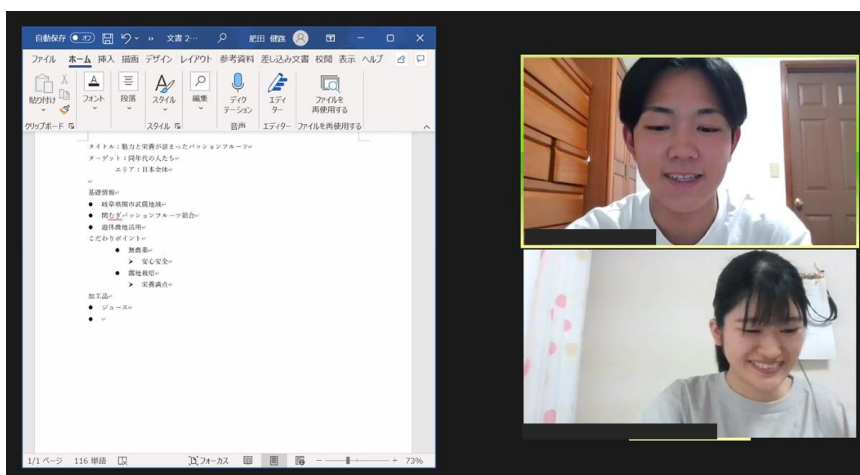
#### 14:40~15:50 講義②Instagramでの発信方法、成果物のまとめ方について

##### オンライン取材内容まとめ、発表準備

Instagramでの発信方法や成果物のまとめ方について学び、オンライン取材の内容をまとめ、発信の準備をしました。

二人で取材内容を持ち寄り、写真の選定、投稿文の作成、ハッシュタグの考案などをし、発信のための資料を作成しました。

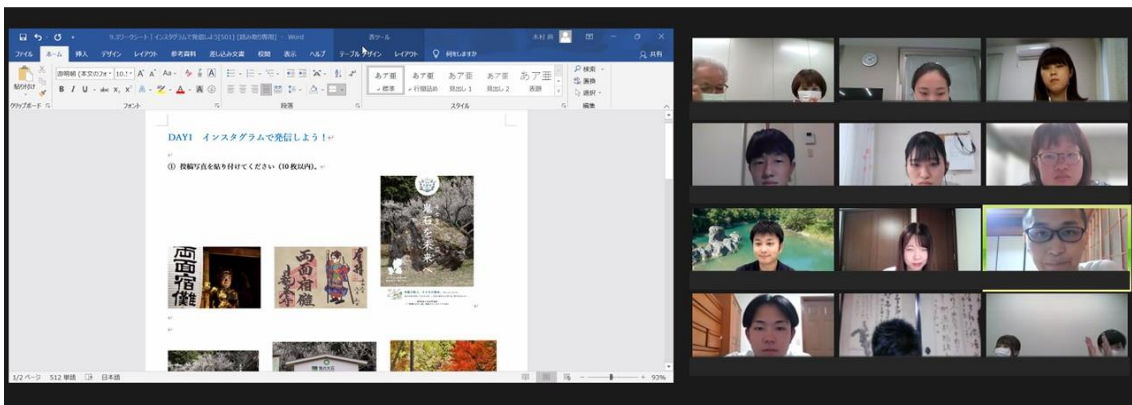
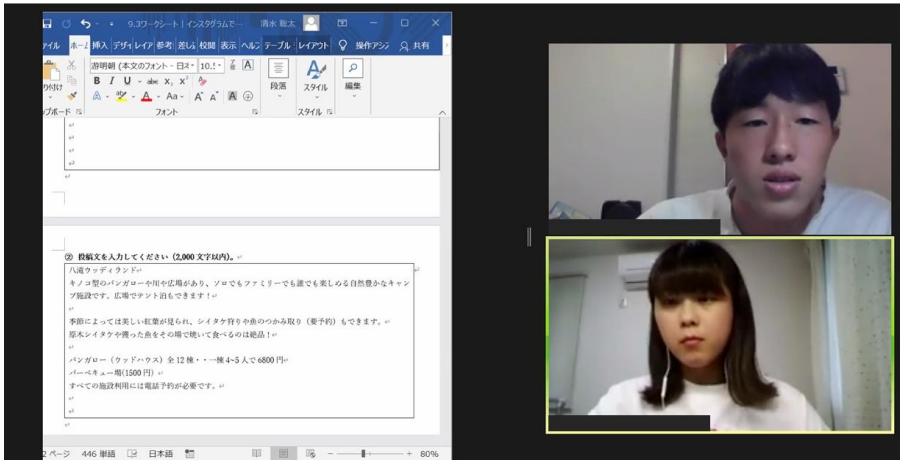
役割分担をし、時間内にまとめることを意識しての作業となりました。



#### 16:00~16:40 オンライン取材内容発表

取材を通して地域の方と直接つながり、自らの身をもって地域について学ぶことができ、各グループとも充実したまとめとなりました。

写真を並べる順番、文章の構成など、投稿を見た人をいかに引きつけるか意識して作成したなど、発信することにおいて何が大切かを考えながら、発表ができたと思います。



### 16:40~17:00 一言感想

関市における新たな魅力の発見、携わる人の思いを知る、地域について自ら発信することの必要性、若者にしかできない・若者だからできることなど、せきららぜミを通して多くのことを学び、今後につなげようという強い意志が感じられました。





## ～ 第4期せきららゼミ（秋学期）DAY2 ～

ここからは、学生スタッフ 末松晃樹（すえまつこうき）かご紹介します！

第3期と同じくオンライン開催となってしまう、残念な気持ちもありましたが、現地に行けなくても開催できたことはもちろん、現地の方のお話を聞いたことをとてもうれしく思います。今回は、「地域おこしライターとしてブログで発信」がテーマということで最後には参加者がそれぞれブログを書くのがゴールです。

DAY2は9月10日に行われました！

10時から開始し、まずは自己紹介からスタートです！



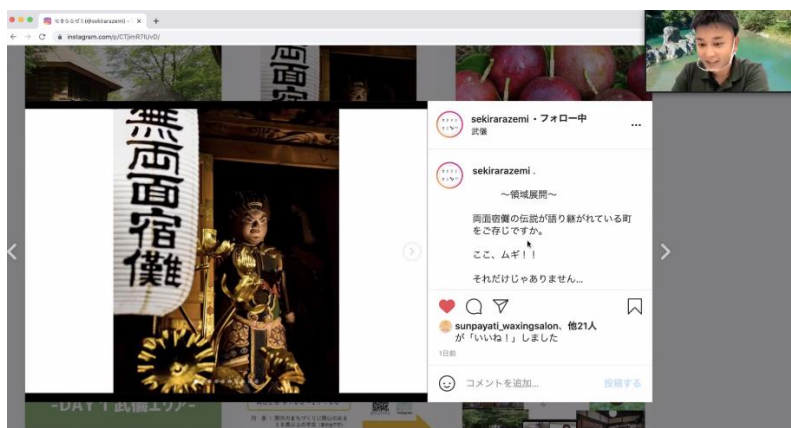
8月27日に行われたオンライン交流会では参加できない方もいたため、全員の顔を見るのは当日が初めてで、始まるまではとても緊張しました。

参加者の方たちは二日目になるのですが、非常に緊張した表情でのスタートとなりました。

写真には写ってはないのですが、それぞれの名前の後ろに「好きな動物の絵文字」を入れました。自分の例でいうと「こうき 🐶 (コアラ) 学生スタッフ」という感じです。ちなみに、なぜコアラかというと、コアラはずーっと木の上で食べて、寝ているイメージで、のんびりしていて羨ましいから。という理由です。(笑)

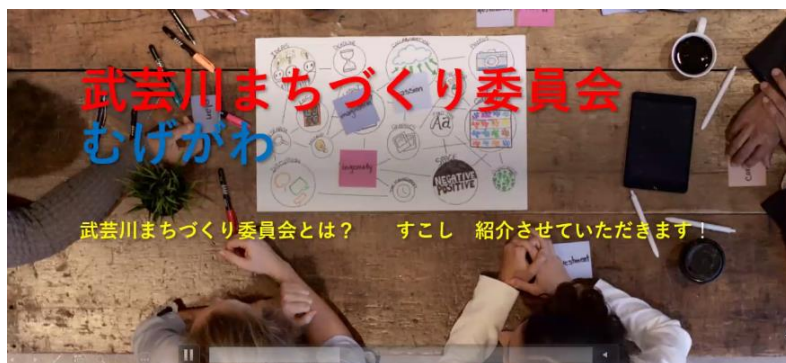
他の方の好きな動物を聞いていると、犬が好きな人が多かった印象を受けました。ただ、犬の中でも柴犬が好きな人や大型犬が好きという人など、好きな動物も犬の種類も全員が違って「面白い！」とおもいました。あっという間に時間が経ち、自己紹介が終わった頃には、緊張も和らいでいました！

自己紹介の後、せきらぜみ 1 日目の成果物のフィードバックをしました！



実際の成果物を参加者全員で見ながら、作成者が工夫した点などをそれぞれ発表しました。「読みやすい文章にする」「シンプルな文章にする」「使用する写真の順番を意識する」など、たくさん工夫がされていました。この写真、とってもかっこいいですね。

次に、「武芸川地域を知ろう」ということで、武芸川まちづくり委員会の櫻井寛和さんに武芸川まちづくり委員会ってどんなところなのか、5つの部会とそれぞれの部会の活動内容などを説明していただきました。



上の用意して下さったプレゼン資料に「“すこし” 紹介させていただきます」と書いてありますが、まちづくり委員会についての説明だけでなく、武芸川地域としての課題なども説明してくださり、武芸川についての情報が盛りだくさんの内容となっていました。

そして、事務局の川嶋郁夫さんから、「まち肌屋」についての説明をしていただきました。まち肌屋の名前の由来として、「武芸川のまちの温度を感じるサイト」ということから、まち肌屋になったそうです。地域の超ローカル情報を発信しており、現在は5つの記事が掲載されているそうです！

午後の部はついに、オンライン取材です！

3つのスポットに分かれて、それぞれが記事を書くために取材をします。

スポットとしては、①武芸八幡宮 ②武芸川民俗資料館&武芸川スポーツ公園 ③一色西国三十三観音&谷口水辺公園の3つです。武芸八幡宮はガイドボランティアの恩田正明さんに、武芸川民俗資料館&武芸川スポーツ公園は関市文化保護センター職員の庄司龍彦さんと武芸川まちづくり委員会の井藤和正さんに、一色西国三十三観音&谷口水辺公園はガイドボランティアの藤井和敏さんと武芸川まちづくり委員会の相宮好孝さんにお話しをしていただきました。



僕は武芸八幡宮に参加しました。関市に20年間住んでいますが、武芸八幡宮に行ったことがなかったので、どんな歴史があるのか非常に楽しみでした。

実際にお話を聞いてみると、武芸八幡宮には織田信長など超有名な歴史上の人物が関連していました。また、太鼓楼という関市の重要文化財に認定されている建物があるのですが、それが約640年前に建てられたものであるなど、非常に歴史のあるスポットだということがわかりました。



この写真すごくいいですね。個人的な意見ですが、日本庭園とか「和」が好きな僕にとってはたまらない一枚です。(笑)

恩田さんのお話を聞いていて、スタッフとしてwordにメモしながら聞かなければいけないのですが、非常に興味を惹かれつついつい話に聞き入ってしまい、すこしメモを忘れてしまいました。(笑)

参加者の3人も話を聞きながらwordにメモをしていたので、とても忙しそうなのが画面から伝わってきました(笑)

取材を終えたら、せきららゼミ2日目のメインである、ブログ作成です！

個人での作業ですが、グループに分かれて行いました。武芸八幡宮のグループではなんと80分間一言も話さずに一人ひとりがもくもくと作業をしていました！

また、途中で事務局から「適宜休憩をはさみながらやってください！」と連絡があったものの、80分間休憩なしで武芸八幡宮のグループの3名は頑張っていました。



写真の右上に表示されている時間をみていただくとわかるように、作業開始から50分間たっていますが、驚くほどの集中力を見せていました。

そして最後に、作ったブログ記事の発表です！

ブログ記事のスクリーンショット。記事のタイトルは「一色三十三観音とは？」で、内容は「まずは「一色三十三観音」からです！場所は一色橋バス停から徒歩5、6分の場所にあります。その名の通り、33体の観音様が約250mに等間隔で祀られているのです！そこには、字間の観音様や、病気に効果のある観音様など、さまざまな御利益のある観音様がいらっしゃいます！」と記述されている。記事には観音様の写真が複数掲載されている。右側には、先述の3名が参加しているビデオ会議のサムネイルが縦に並んでいる。



この写真は発表していただいた方のうちの一人の記事ですが、現地に行かなくても取材の際にしっかりとスポットの魅力を受け取り、ブログで最大限にその魅力を伝えることができおり、80分という時間の中でもみなさん非常にクオリティの高いものができていてすごいなと感じました！

また、1日目の成果物と同様に様々な工夫があり、「なななんと」のように話し言葉等を使用して、読者が読みやすいように工夫がされていて、非常に素晴らしいものでした。

最後の振り返りでは、「関市で生まれ育ったけど、知らないことばかりだった」というコメントがいくつかありました。「去年、僕がせきららゼミに参加者として振り返りの時に言ったことと同じだ」と思いながら聞いていました。

僕は、このせきららゼミをきっかけに、いろいろなことが変わりましたし、参加してから今まで関市に関わり続けています。せきららゼミに参加したことで、日常が充実していると感じるなど、人生が変わったといっても過言ではありません。なので、上から目線な言い方になってしまいますが、今回の参加者の方々には、このせきららゼミに参加したことをきっかけになにか動き出してほしいと感じました。

